



NEWS LETTER MEIKAI

NEWS LETTER

2012.7.1 Vol.204

明海大学
隔月発行
編集・発行
企画広報課

Contents

- 1 明海スポーツ 空手道部・ヨット部大躍進！
- 2 2012年度オープンキャンパス開催
- 3 歯学部交換研修プログラム
- 4 経済学部キャリア講座
- 5 学内企業セミナー
- 6 HT学部釜石市ボランティア
- 7 環境美化活動実施
- 8 2011年度事業報告および決算

明海スポーツ

MEIKAI SPORTS

体育会空手道部・ヨット部 歴史に残る大躍進！



優勝を決めた上田主将（写真右）

提供：空手PRESS

総合3位で入賞した本学体育会ヨット部

体育会空手道部 上田主将、関東個人優勝！

5月20日に第40回関東学生空手道選手権大会が行われ、男子個人組手の部で本学体育会空手道部の上田航主将（経済学科4年）が優勝を果たした。本大会は関東地区に所属する各大学の空手道部からエース級の選手が参加し、トーナメント形式で頂点を競う。男子個人組手の部には総勢304人が参加した。上田主将は1年生から本大会に出場していたが、すべてベスト32で惜しくも敗れており優勝を逃してきた。4年生となった今回、明海大学空手道部主将の名を背負ったことで、その責任が励みになったという。大会を振り返り「ベスト8をかけた試合が一番の山場でした。対戦相手は高

校時代から一度も勝てなかった選手だったので、ここで勝利した瞬間に優勝を狙う勢いがありました」と語った。今後、11月には全日本大学空手道選手権が控えている。上田主将は「最終目標はやはり団体での優勝です。チーム全体の實力は向上しているので、あとは気持ちで負けなければ必ず結果はついてきます」と意気込みを新たにした。

体育会ヨット部 総合3位入賞！

4月21日から5月5日にかけて神奈川県森戸海岸で「関東学生ヨット春季選手権大会」が開催され、本学体育会ヨット部が470級準優勝、スナイブ級4位入賞、総合順位で3位という快挙を成し遂げた。大躍進の要因の一つに部員の意識

の変化がある。今大会を目前に控えた3月の練習で、國府田由隆監督は選手たちに自主性を一層意識させた。その結果、鈴木一智主将（経済学科4年）を中心に選手たち自らが練習メニューを考え、勝つために必要なことを模索することで、チームが一つにまとまった。今回の快挙を受けて國府田監督は「最大の勝因であり収穫は、選手たちが日々の練習成果を発揮し、結果が伴ったことで自信を獲得できたこと。『自分たちの練習は間違っていないかった』といった自信は大きな財産になる。今回の成績によって今後の大会ではマークされる側になるが、選手たちもその覚悟はできているし、それを突破する勢いが出てきている」と語る。体育会ヨット部の快進撃はまだまだ終わらない。

2012年度オープンキャンパス開催

全国から多くの高校生が来場

2012年度オープンキャンパスが坂戸キャンパスおよび浦安キャンパスで始まった。全国各地から大勢の高校生や保護者らが参加。来場者は将来の大学生活を思い描きながら、キャンパスの雰囲気や在学生との交流を存分に楽しんでいる様子が見られた。

坂戸キャンパス 臨床力を重視した 教育システムを紹介

坂戸キャンパスでは、5月27日と6月24日に歯学部志望者を対象に開催。大学紹介では、本学の臨床力を重視した教育システムの説明に真剣にメモを取る高校生や説明後に質問に来る熱心な保護者の姿が見られた。その



在学生と交流する来場者(坂戸)

後、体験学習や模擬授業が行われ、普段見ることのできない歯科医療の施設や設備などに、高校生の驚きの表情が見られた。

来場者からは「臨床力の高い歯科医師になるための学習環境が整っていると感じた」「カリキュラムや海外研修制度が大変充実していることが分かった」などの声が聞かれた。

浦安キャンパス 学生プレゼン 「充実のキャンパスライフ」

浦安キャンパスでは、6月10日に外国語学部、経済学部、不動産学部およびホスピタリティ・ツーリズム学部志望者を対象に開催。

特別企画として行われた「在学生



学科の魅力を発表する在学生(浦安)が語る! Meikai Life」では、各学科の在学生が大学の魅力をプレゼンテーション。授業や海外研修、サークル活動など、充実したキャンパスライフの紹介に、来場者からは「在学生の生の声を聞くことができ、とても参考になった」「発表した在学生のようにひとつでも目標を持って、大学生活を充実させたい」などの感想があり、大変好評だった。

また、「学科魅力発見コーナー」では、例年以上の参加があり、教員や在学生に熱心に質問する姿が見られた。

ホスピタリティ・ツーリズム学部 One Dayセミナー

体験・参加型プログラムで学部の魅力を体験

5月20日、ホスピタリティ・ツーリズム(以下、HT)学部のOne Dayセミナーが、浦安キャンパスで行われた。これは、学部の特色を生かしたさまざまな体験・参加型プログラムを行い、セミナーを通じて学部の魅力や学びの楽しさを知り、興味を深めてもらうことを目的に開催している。当初、定員80人で募集を開始したところ、反響が大きく、秋

田県や高知県など遠方からの参加もあり、急きょ定員数を増やすほどの盛況ぶりだった。

当日は、マナー講座、業界研究(ホテル、エアライン&トラベル)の講義や、知識を実社会で生かす体験として東京デイズニューリゾート・パートナーホテルのファウンテンテラスホテルを見学し、最後にグループ学習で1日のまとめを行った。高

校生は少人数のグループに分かれて行動し、各グループにはHT学部在学生が同行。昼食時には、教員や在学生と共にテーブルを囲み、交流を楽しむ光景が見られた。また、高校生がホテル見学を行っている間、教員による保護者向けプログラムを実施。就職状況などの説明に熱心に聞き入る保護者の姿が見られた。

歯学部交換研修プログラム

トゥルク大学の研修生が参加

本学歯学部は国際的な歯科医師を育成することを目的として、費用全額を大学が負担する海外研修制度を設けており、同様に海外の各国姉妹校から、交換研修生の受け入れも行っている。

6月4日から7日にかけて、フィンランドのトゥルク大学から研修生2人とインストラクター2人が来学。研修生らは、本学歯学部の教育・研究についての講義を受けた後、附属病院などの施設見学を行った。研修期間中は、昨年の8月にトゥルク大学の海外研修に参加した本学在学学生らが中心となり、世話役を務めるなど、学生同士の活発な交流がなされた。

引率をしたクリスティーナ教授は「本学では、全ての学生に国際的な研修を強く推奨しており、その中でも明海大学との国際交流プログラムへの参加を学生は大きな励みにしています。今後も相互に協力し合い、この交流をさらに発展させていきたい」と話した。



熱心に見学をする研修生ら

留学生
ウェルカムパーティー

今年度新たに入学した新入留學生を対象としたウェルカムパーティーが5月24日、浦安キャンパスで開催され、新入留學生104人をはじめ多

くの在學生や教職員が参加した。

パーティーは安井利一学長の挨拶で開幕し、参加した新入留學生らはテーブルを囲んで歓談に興じたり記念写真を撮るなど、それぞれが存分に楽しんでた。また、式の後半でくじ引きによる抽選会が行われると、当選者発表のたびに歓声があがるなど会場は大きな盛り上がりを見せた。

参加した新入留學生は「今日を機に多くの新しい友達ができました。これからの学生生活が楽しみです」と笑顔で語った。



パーティーを楽しむ留學生ら

OPEN CAMPUS 2012 ※各日程期間限定の特別プログラムを実施します。

浦安キャンパス 10:30~15:00
外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部

7/8(日)・22(日)
8/4(土)・18(土)・25(土)

坂戸キャンパス 10:30~16:00
歯学部

7/22(日)・8/20(月)

One Dayセミナー ※要予約

7/29(日) HT学科 8/8(水) 中国語学科
8/8(水) 英米語学科 8/18(土) 不動産学科

お問い合わせ/企画広報課
TEL : 047-355-1101

詳しくはこちらから↓
<http://www.meikai.ac.jp>

経済学部
キャリア講座Ⅲ・Ⅳ

内閣官房 地域活性化のプロが講義

経済学部の授業科目「キャリア講座Ⅲ・Ⅳ」では、社会人としての知識や能力を修得し、地域に貢献できる人材の育成を目的としている。実際に地域貢献活動に携わるための事前学修として、5月24日には内閣官房地域活性化統合事務局参事官の田尻直人氏を招き、講義が行われた。

田尻氏は、主に地域と政府が一体となった地域活性化の取り組みについて事例を挙げて説明。中心市街地を活性化する取り組みとして、コン

パクトシティ（生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市）を目指す富山市の中心市街地活性化基本計画を事例に、「にぎわい拠点創出」「まちなか居住推進」などの地域事業を分かりやすく解説した。また、東日本大震災の影響もあり、都市再生分野にも注目が集まっていること、地域活性化事業は急務であることを強調した。

学生からは「多くの方がより快適に過ごすにはどうすればよいのか、

真剣に考える機会となった」「地域のために自分に何ができるかを考えていきたい」といった声が聞かれた。



内閣官房参事官 田尻氏

ホスピタリティ・ツーリズム学部
社長講座

ANA客室本部長らが講義

ホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部では、企業が求める人材を育成することを目的に、実践教育に力を入れている。

HT学部の授業科目「特別講義Ⅰ（通称：社長講座）」では、HT業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えなどを学ぶ。5月24日に全日本空輸(株)（以下、ANA）

氏、31日に(株)WDI社長の清水謙氏、6月7日に(株)TABi'Z代表取締役の熊澤房弘氏を招き講義が行われた。長年、客室乗務員として実務に携わってきたANAの河本氏は、ANAの目指す客室乗務員像について触れ、「グローバル化が進むなかで、大切なのは日本のおもてなしの心。小さいことほど丁寧に、あたり前のことほど真剣に取り組む、お客さまと共に最高の喜びをつくりたい」と語った。

7月以降も(株)JTB社長の田川博己氏や(株)ジャルセールス副社長の清水佳人氏などを招き講義が行われる。



講義をするANA河本氏

ホスピタリティ・
ツーリズム学部

セレモニーを学ぶ日本有数の授業として注目



実務家の中川講師による講義

今年度開講したホスピタリティ・ツーリズム学部の授業科目「ホスピタリティビジネス論Ⅳ ライフデザイン」は、ブライダルとフューネラル*の分野をセレモニーの観点から学ぶ、日本でも数少ない事例として注目を集めている。講師は、(株)アーバンフューネスコーポレーション代表取締役社長の中川貴之氏が務め、ブライダル業界、葬儀業界双方で新しいビジネススタイルを確立してきた知識と

経験を学生に提供している。全15回の講義のうち前半はブライダルを中心に結婚式におけるホスピタリティやマナー、現代のブライダル（衣装・花・食事・海外挙式）などを学び、後半は、葬儀を中心に葬儀におけるホスピタリティやマナー、民俗学・宗教学など幅広く授業を展開。また、ブライダルとフューネラルについての業界研究も行う。中川講師は「この授業を通じて、究極のホスピタリティと言われる冠婚葬祭業界を担う人材を育成したい」力強く語った。

*フューネラル：葬儀・葬式・告別式など

就職戦線を乗り切れ！ 学内企業セミナー 採用意欲高い60社招く

5月21日から23日までの3日間、浦安キャンパスで4年生を対象とした学内企業セミナーが開催され、金融や商社、メーカー、サービス、不動産など幅広い業種から約60社が参加した。学内企業セミナーは、さまざまな業界・業種の企業が学内にブースを設置し、企業の採用担当者から学生に事業内容や採用情報などを提供する場で、毎年ここでの出会いをきっかけに内定を勝ちとった学生が多数いる。少人数で直接話を聞くことができる絶好の機会とあって、3日間で約250人の学生が参加した。セミナーに参加した学生は、「複数

の企業の方からお話を聞くことができ、今まで意識していなかった業界に目を向けるきっかけとなった」と語った。

全国的に厳しい就職の現状を踏まえ、就職支援担当の職員は、「学生のニーズに合う企業を開拓し、情報を学生にフィードバックすることで、企業や仕事への理解不足から生じるミスマッチを

なくす取り組みをしている。今後も万全のサポート体制で学生の目標進路への実現に向けて支援していく」と語った。



採用担当者の話を熱心に聞く学生

岡田さんがひき逃げ容疑者逮捕に協力

今年3月に歯学部を卒業した岡田和之さんが、ひき逃げ容疑者逮捕に協力したことにより、5月21日に安井一学長から表彰を受けた。

岡田さんは、今年の2月20日午後、東松山市で乗用車を運転中、前を走っていたごみ収集車が小学2年の女児2人と接触し、そのまま走り去るのを目撃。児童の無事を確認するとクラクションを鳴らしながら追跡し、500メートル先で容疑者男性の車を止めた。その後、男性を説得し、一緒に現場に戻ると男性を警察に引き渡した。ひき逃げ容疑者を追跡し、現行犯逮捕に協力をしたとして



表彰状を手にする岡田さん

3月14日、埼玉県東松山署から岡田さんに感謝状が贈られた。

安井学長から表彰を受けたことについて、岡田さんは「目の前で子どもをはねて逃げた行為を目の当たりにし、当然のことは行っただけだと思っていますが、大変光栄です」と語った。



2012 サマーフェスティバル開催のお知らせ

■プールエクササイズ

※ワンポイントアドバイス、アクアコア、水中ウォーキング

日 程：7月18日(水)から7月22日(日)まで

場 所：メイカイクラブ「スイミングプール」

対 象：賛助会員、会員登録をしている学生・教職員・教職員家族および一般

参加料金：賛助会員300円および入館料、一般1,000円(要事前申込)

■水中バレーボール

日 時：7月21日(土) 12:00~14:00

場 所：メイカイクラブ「スイミングプール」

対 象：賛助会員および会員登録をしている学生・教職員・教職員家族

参加料金：500円および入館料(要事前申込)

申込期間

7月1日(日)~7月16日(月・祝)

お問い合わせ 学事課(オープンカレッジ担当)

TEL:047-355-5115

E-mail:m-open@meikai.ac.jp

詳しくは <http://meikaiclub.jp> をご覧ください。

ホスピタリティ・ツーリズム学部 東日本大震災釜石市復興支援活動記

ホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部上杉恵美准教授のゼミ学生を中心に、6月16日と17日の2日間、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市を訪れ、ボランティア活動を実施した。HT学部としての特色を生かした支援活動の様子を学生のコメントと共にレポートする。

6月16日

現地の様子に言葉を失う

現地には、引率として草野健HT学部長、上杉准教授が同行。釜石市を訪れた一行は、現地視察を行い、「釜石湾港防波堤」の跡を高台から見学し、その後、鶴住居地区へ移動。釜石の奇跡の学校と言われる「鶴住居小学校」「釜石東中学校」や多くの市民が犠牲となった「鶴住居防災センター」なども視察した。



三村真美さん（3年）

「街の様子を見て胸が苦しくなる思いでした。跡形もなくな

ってしまった駅に着いたときは、本当に言葉を失いました」

観光キャンペーンを支援

視察を終えた後、早速ボランティア活動を開始。東日本大震災からの復興を願う観光キャンペーンの一環で運行する「蒸気機関車SL銀河ドリーム号」の釜石駅到着に合わせて学生が、釜石の象徴でもある大漁旗を振り、また、横断幕を掲げて観光客らをもてなした。

米山愛さん（3年）「多くの方の喜んでいただけた顔を見て、このような



ボランティア活動に参加した学生および教員

“おもてなし”の仕方もあるのだと勉強になりました」



大漁旗などで観光客を歓迎する学生たち

になってくれていることを強く感じ、これこそがホスピタリティの原点だと思いました」

今後の活動について

2日間の活動を終え、上杉准教授は「積極的に活動をしている学生たちの姿を見て、人の役に立つことを自分の喜びとすることができる学生たちを誇りに思いました。被災地の現状を実際に目で確かめ、現地では何が求められているかを知り、『自分たちに何ができるか』を考えるきっかけになったと思います」と話した。

HT学部では9月中旬にも2回目の活動を実施する予定で、次年度以降も継続して実施していく。

6月17日

地元の方々と触れ合う

この日は早朝から平田地区の仮設団地における賑わい創出イベントの手伝いとして、設営や炊き出し、観光客や住民等へのイベント参加の呼びかけ、記念撮影や記念品の配布などの支援活動を行った。また、住民の方々やイベントを主催した楽天(株)スタッフとも交流を深めた。

高橋智美さん（3年）「イベントでは私たちが頑張ることで皆さんが笑顔



笑顔でイベントを盛り上げた

活動の様子は「明海大学公式Facebook」でも紹介しています。
www.facebook.com/meikai.univ

学生が主体となって、環境美化活動を実施

本学では、学生が主体となって、学内における禁煙・分煙の推進および喫煙マナー向上、地域の環境美化活動などのマナー向上キャンペーンを積極的に実施している。ここでは、浦安キャンパスにおいて行われた取り組みを紹介する。

クリーンキャンペーンの実施

6月11日から29日まで、約3週間にわたり浦安キャンパスでクリーンキャンペーンが行われた。これは、学生のマナー向上を目的として毎年行われているもので、学内およびキャン



クリーンキャンペーンでマナー向上を呼びかける学生ら

パス周辺で、分煙ルールの徹底、歩行喫煙、ゴミの投げ捨てや放置の防止や、路上における歩行マナー向上の呼び掛けを行うとともに、清掃活動を展開。大学生生活の環境改善のために学生を中心に教職員も一体となって活動しており、大きな効果をあげている。参加した学生は、「自分たちが学ぶキャンパスをきれいに保てるよう、引き続き環境美化に努めたい」と語った。

ゴミゼロ運動への参加

5月24日、浦安市主催のゴミゼロ運動が行われ、本学の学生が多数参加した。毎年5月30日(ゴミゼロの日)前後に行われている同運動は、ゴミの分別やリサイクルを啓発することを目的として実施されており、京葉線新浦安駅前の環境美化活動を行うとともに、地域住民に環境美化を呼びかけた。

歯学部 課外活動紹介⑤

講義や実習に集中する日々の中で、積極的に活動している歯学部のクラブやサークルを紹介する。シリーズ5回目は第43回全日本歯科学生総合体育大会(以下、歯学体)で4位に入賞した空手道部。昨年、主将を務めた足立圭亮選手(5年)に話を聞いた。

現在、部員は11人で、月・水・金曜日の週3回を練習日としています。練習メニューは経験者の意見を取り入れ、効率重視で工夫を図っています。主に基本動作や移動・運足、筋力トレーニング、ミットを使った基礎テクニックの確立、型や組手稽古などを行っています。さらに試合が近くなると、試合形式の練習メニューを取り入れて本番に臨みます。部員同士の仲もよく、お互いけがをしないよう心がけて技術の向上を目指しています。夏に行われる合宿では、普段の練習と一味違ったメニューや日ごろの練習を忘れて楽しめる観光などを企画し、結束力を高めます。

空手道部



目指すは歯学体優勝

空手道なので組手は1対1の試合ですが、組手・型に個人戦、団体戦とあります。団体戦では相手側との戦力を考えて誰と誰を対峙させるかという戦略も問われる競技でもあります。日々の鍛錬を駆使して、今年こそ念願の歯学体優勝を成し遂げたいと思います。

(足立主将談)

2011年度 事業報告および決算

学校法人明海大学の2011年度決算は、2012年5月22日の理事会で承認され、確定した。2011年度も引き続き健全な財務内容を維持することができた。

事業報告

■ 教育の質の向上

浦安キャンパスでは、「基礎教育」「人間力形成教育」「キャリア形成教育」「専門教育」をバランスよく配置し、社会人基礎力の修得に重点を置いたカリキュラムに改編して3年目を迎えた。また、キャリアカウンセラーによるきめ細やかな就職指導が行われる「マイキャリア・ゼミナール」等の就職支援にも力を入れ、入学から卒業・就職まで一貫した教育の質の向上を図った。

歯学部では、臨床力の高い歯科医師を養成するために、臨床系科目・臨床実習を充実させるとともに、基礎系専門教育では臨床教育をより深く理解するため、基礎的な知識の修得に重点を置いた教育を展開。これらの取組みの結果、第105回歯科医師国家試験の合格率で、全国の私立歯科大学17校中第7位となった。

■ 教育研究環境の充実

浦安キャンパスでは、一部の講義室を改修し、AV機器の充実、室内レイアウトの変更、机・椅子などの什器の入替えを行い、より高い教育効果を発現するための環境を整備。また、Web教務システムの大幅強化を行い、学生がインターネットを介して成績照会や携帯端末で掲示・休講情報等の閲覧ができるようにするとともに、学生の出欠席や相談記録などをデータベース化することにより、よりきめ細やかな指導ができるシステムを構築した。

歯学部では、少人数制チュートリアル教育を行うために9部屋のグループ学習室を設置。付属病院では歯科用CTスキャンを新規導入するなど診療体制の充実を図った。PDI浦安歯科診療所では、歯科医師生涯研修の専用設備として実習・講義兼用のCE研修室を整備した。

■ 地域交流と社会貢献の推進

付属病院やPDI各診療所における、地域医療機関との連携強化に加え、本学卒業生だけでなく国内外で活躍する現役の歯科医師を対象に歯科医師生涯研修(CE)を実施し、最新の歯科理論・技術を学ぶことができる実践的なプログラムを提供。

また、昨年11月には、不動産研究センターが中心となり、浦安市および住宅・生活関連企業9社との産官学連携による「浦安環境共生都市コンソーシアム」を発足させた。

■ 東日本大震災への対応

2011年3月の東日本大震災では、両キャンパスの建物の被害は比較的軽度であったものの、浦安キャンパスでは液状化現象によりグラウンドなどの校地が大きな被害を受けた。この復旧工事については、震災後すみやかに着手し、2012年3月にはすべての工事が完了した。

また、浦安キャンパスでは、学費負担者が今般の震災で被災または福島第一原発事故により避難生活を余儀なくされている在学生92人に対し、学納金の減免を実施した。

第42期決算報告書(2011年度)

資金収支計算書

(単位 円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	6,621,148,944	人件費支出	5,307,576,450
手数料収入	78,884,370	教育研究経費支出	3,477,086,749
寄付金収入	10,964,891	管理経費支出	1,115,529,330
補助金収入	1,435,847,967	施設関係支出	113,141,921
資産運用収入	4,019,233,435	設備関係支出	251,011,701
資産売却収入	7,385,262,400	資産運用支出	20,674,233,061
事業収入	238,353,722	その他の支出	2,541,276,597
医療収入	1,897,989,462		
雑収入	63,680,501		
前受金収入	1,093,995,620		
その他の収入	12,104,827,506		
資金収入調整勘定	△ 2,103,475,046	資金支出調整勘定	△ 620,967,961
前年度繰越支払資金	13,386,911,337	次年度繰越支払資金	13,374,737,261
収入の部合計	46,233,625,109	支出の部合計	46,233,625,109

消費収支計算書

(単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	6,621,148,944	人件費	5,307,279,853
手数料	79,087,170	教育研究経費	4,143,506,167
寄付金	18,204,203	管理経費	1,219,679,763
補助金	1,435,847,967	資産処分差額	2,267,979,090
資産運用収入	4,019,233,435	徴収不能額	37,383,117
資産売却差額	177,633,339	徴収不能引当金繰入額	36,844,701
事業収入	238,353,722		
医療収入	1,897,989,462		
雑収入	63,792,839		
帰属収入合計	14,551,291,081		
基本金組入額合計	△ 10,269,231,766		
消費収入の部合計	4,282,059,315	消費支出の部合計	13,012,672,691
		当年度消費支出超過額	8,730,613,376
		前年度繰越消費収入超過額	11,212,322,053
		翌年度繰越消費収入超過額	2,481,708,677

貸借対照表(2012年3月31日)

(単位 円)

資産の部		負債の部	
固定資産	127,212,473,466	固定負債	3,267,375,510
有形固定資産	40,655,091,816	長期借入金	0
土地	27,283,014,283	退職給与引当金	3,267,375,510
建物	8,860,981,430		
構築物	459,514,210	流動負債	1,792,502,838
教育研究用機器備品	792,523,163	短期借入金	0
その他の機器備品	62,240,977	未払金	612,682,423
図書	3,196,403,759	前受金	1,094,405,620
その他	413,994	預り金	85,414,795
その他の固定資産	86,557,381,650	負債の部合計	5,059,878,348
有価証券	7,888,966,036		
長期貸付金	32,974,921	基本金の部	
退職給与引当特定資産	3,267,375,510	第1号基本金	58,443,058,906
第2号基本金引当資産	7,239,000,000	第2号基本金	7,239,000,000
第3号基本金引当資産	67,603,000,000	第3号基本金	67,603,000,000
その他	526,065,183	第4号基本金	700,000,000
流動資産	14,314,172,465	基本金の部合計	133,985,058,906
現金預金	13,374,737,261		
未収入金	840,109,535	消費収支差額の部	
貯蔵品	16,140,118	翌年度繰越消費収入超過額	2,481,708,677
短期貸付金	5,466,975	消費収支差額の部合計	2,481,708,677
その他	77,718,576		
資産の部合計	141,526,645,931	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	141,526,645,931